福井県後期高齢者医療広域連合告示第２３号

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２９２条において準用する同法第２４３条の３第１項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成１９年条例第１９号）第３条第２項の規定に基づき、令和７年４月１日から令和７年９月３０日までの財政状況及び令和６年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

令和７年１２月２３日

福井県後期高齢者医療広域連合長　西行　茂

１　歳入歳出予算の執行の概況

（１）令和７年度一般会計（令和７年９月３０日現在）

【歳入】　（単位：円、％）

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
１　分担金及び負担金	565,066,000	282,548,000	50.0
２　国庫支出金	3,433,000	0	0.0
４　繰越金	1,000	82,835,930	8,283,593.0
５　諸収入	220,000	106,971	48.6
合計	568,720,000	365,490,901	64.3

【歳出】　（単位：円、％）

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
１　議会費	1,496,000	32,740	2.2
２　総務費	157,378,000	72,602,946	46.1
３　民生費	407,845,000	0	0.0
４　諸支出金	1,000	0	0.0
５　予備費	2,000,000	0	0.0
合計	568,720,000	72,635,686	12.8

（２）令和７年度後期高齢者医療特別会計（令和７年９月３０日現在）

【歳入】　（単位：円、％）

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1　市町支出金	22,472,993,000	7,885,505,375	35.1
2　国庫支出金	38,612,602,000	22,567,128,000	58.4
3　県支出金	10,251,157,000	6,000,000,000	58.5
4　支払基金交付金	46,067,080,000	19,330,066,000	42.0
5　特別高額医療費共同事業交付金	65,690,000	0	0.0
6　財産収入	1,500,000	150,410	10.0
8　繰入金	622,708,000	0	0.0
9　繰越金	1,000	1,356,906,133	135,690,613.3
10　県財政安定化基金借入	1,000	0	0.0
11　諸収入	101,603,000	58,900,983	58.0
合計	118,195,335,000	57,198,656,901	48.4

【歳出】　（単位：円、％）

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1　総務費	424,599,000	177,429,745	41.8
2　保険給付費	117,109,952,000	48,937,963,422	41.8
4　特別高額医療費共同事業拠出金	92,822,000	0	0.0
5　支払基金拠出金	86,598,000	30,590,334	35.3
6　保健事業費	431,712,000	1,771,387	0.4
7　基金積立金	1,500,000	150,410	10.0
8　公債費	1,000	0	0.0
9　諸支出金	28,151,000	17,020,715	60.5
10　予備費	20,000,000	0	0.0
合計	118,195,335,000	49,164,926,013	41.6

２　財産、地方債及び一時借入金の概況

（１）財産

①公有財産　　令和７年９月３０日現在所有なし

②基金　　令和７年９月３０日現在高

療養給付費等準備基金　　１，３１３，０７７，７１０円

③債権　　９９６，７７０，５００円

（２）地方債　　令和７年９月３０日現在借入なし

（３）一時借入金　　令和７年９月３０日現在借入なし

３　令和６年度の決算の概況

（１）一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

（第１表の１）　前年度決算額との比較　（単位：円、％）

区　分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C　(A－B)	増減率 C/B
歳入	675,029,435	509,986,847	165,042,588	32.4
歳出	592,193,505	454,575,898	137,617,607	30.3
差引	82,835,930	55,410,949	27,424,981	49.5

（第１表の２）　予算現額との比較　（単位：円、％）

区　分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	674,223,000	675,029,435	100.1
歳出	674,223,000	592,193,505	87.8

令和６年度の決算額は、歳入６億7,502万9,435円、歳出５億9,219万3,505円で、歳入歳出差引額は8,283万5,930円となった。この差引額は、剰余金として令和７年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.1％と87.8％となった。

②歳入の状況

（第２表の１）　前年度決算額との比較　　（単位：円、％）

歳入区分 （款）	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C　(A－B)	増減率 C/B
1　分担金及び負担金	618,752,000	91.6	462,583,000	156,169,000	33.8
2　国庫支出金	393,519	0.1	380,171	13,348	3.5
4　繰越金	55,410,949	8.2	46,827,954	8,582,995	18.3
5　諸収入	472,967	0.1	195,722	227,245	141.7
合　計	675,029,435	100.0	509,986,847	165,042,588	32.4

※　決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

（第２表の２）　予算現額との比較　　（単位：円）

歳入区分 （款）	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1　分担金及び負担金	618,019,000	618,752,000	618,752,000	0	733,000
2　国庫支出金	429,000	393,519	393,519	0	△35,481
4　繰越金	55,410,000	55,410,919	55,410,919	0	949
5　諸収入	395,000	472,967	472,967	0	107,967
合　計	674,223,000	675,029,435	675,029,435	0	806,435

令和６年度の歳入決算額は、６億 7,502 万 9,435 円で、前年度決算額と比較して１億 6,504 万 2,588 円、率にして 32.4％の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が６億 1,875 万 2,000 円、繰越金が 5,541 万 919 円となっている。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、分担金及び負担金が１億 5,616 万 9,000 円増額となったことによるものである。

③歳出の状況

（第３表の１）　前年度決算額との比較　（単位：円、％）

歳出区分 （款）	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C　(A－B)	増減率 C/B
1　議会費	713,942	0.1	721,682	△7,740	△1.1
2　総務費	150,862,831	25.5	140,949,134	9,913,697	7.0
3　民生費	385,338,732	65.1	266,078,082	119,260,650	44.8
4　諸支出金	55,278,000	9.3	46,827,000	8,451,000	18.0
5　予備費	0	0.0	0	0	－
合　計	592,193,505	100.0	454,575,898	137,617,607	30.3

※　決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

（第３表の２）　予算現額との比較　（単位：円、％）

歳出区分 （款）	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1　議会費	1,494,000	713,942	780,058	47.8
2　総務費	157,192,000	150,862,831	6,329,169	96.0
3　民生費	458,259,000	385,338,732	72,920,268	84.1
4　諸支出金	55,278,000	55,278,000	0	100.0
5　予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合　計	674,223,000	592,193,505	82,029,495	87.8

令和６年度の歳出決算額は、5 億 9,219 万 3,505 円で、前年度決算額と比較して 8,202 万 9,495 円、率にして 87.8％増加した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が 71 万 3,942 円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が 1 億 5,086 万 2,831 円、特別会計への繰出金である民生費が 3 億 8,533 万 8,732 円、市町への償還金である諸支出金が 5,527 万 8,000 円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、総務費が 632 万 9,169 円増額、民生費が 7,292 万 268 円増額となったことによるものである。

（２）後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

（第４表の１）　前年度決算額との比較　（単位：円、％）

区　分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C　(A－B)	増減率 C/B
歳入	116,727,279,480	113,047,027,759	3,680,251,721	3.3
歳出	115,370,373,347	111,097,117,067	4,273,256,280	3.8
差引	1,356,906,133	1,949,910,692	△593,004,559	△30.4

（第４表の２）　予算現額との比較　（単位：円、％）

区　分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	117,880,836,800	116,727,279,480	99.0
歳出	117,880,836,800	115,370,373,347	97.9

令和６年度の決算額は、歳入 1,167 億 2,727 万 9,480 円、歳出 1,153 億 7,037 万 3,347 円で、歳入歳出差引額は 13 億 5,690 万 6,133 円となった。この差引額は、剰余金として令和７年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ 99.0％と 97.9％となった。

②歳入の状況

（第５表の１）　前年度決算額との比較　　（単位：円、％）

歳入区分（款）	決算額 A	決算額構成比	前年度決算額 B	対前年度比	
				増減額 C　(A－B)	増減率 C/B
1　市町支出金	21,544,475,613	18.4	20,663,632,428	880,843,185	4.3
2　国庫支出金	37,565,415,247	32.2	36,409,094,282	1,156,320,965	3.2
3　県支出金	9,604,969,897	8.2	9,385,793,124	219,176,773	2.3
4　支払基金交付金	44,712,132,000	38.3	43,974,731,000	737,401,000	1.7
5　特別高額医療費共同事業交付金	68,077,073	0.1	56,769,573	11,307,500	19.9
6　財産収入	1,156,915	0.0	27,122	1,129,793	4,165.6
8　繰入金	1,187,773,532	1.0	307,578,082	880,195,450	286.2
9　繰越金	1,948,812,892	1.7	2,129,142,901	△180,330,009	△8.5
11　諸収入	94,466,311	0.1	120,259,247	△25,792,936	△21.4
合　計	116,727,279,480	100.0	113,047,027,759	3,680,251,721	3.3

※　決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

（第５表の２）　予算現額との比較　　（単位：円）

歳入区分（款）	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納欠損額	収入未済額	予算現額と決算額との比較 C－A
1　市町支出金	21,818,335,000	21,544,475,613	21,544,475,613	0	0	△273,859,387
2　国庫支出金	37,690,811,000	37,565,415,247	37,565,415,247	0	0	△125,395,753
3　県支出金	10,145,610,000	9,604,969,897	9,604,969,897	0	0	△540,640,103
4　支払基金交付金	44,859,331,000	44,712,132,000	44,712,132,000	0	0	△147,199,000
5　特別高額医療費共同事業交付金	54,078,000	68,077,073	68,077,073	0	0	13,999,073
6　財産収入	1,563,000	1,156,915	1,156,915	0	0	△406,085
8　繰入金	1,260,693,800	1,187,773,532	1,187,773,532	0	0	△72,920,268
9　繰越金	1,948,812,000	1,948,812,892	1,948,812,892	0	0	892
11　諸収入	101,603,000	103,048,332	94,466,311	0	8,582,201	△7,136,689
合計	117,880,836,800	116,735,861,501	116,727,279,480	0	8,582,021	△1,153,557,320

令和６年度の歳入決算の総額は、1,167 億 2,727 万 9,480 円で、前年度決算額と比較して 36 億 8,025 万 1,721 円、率にして 3.3％の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が 215 億 4,447 万 5,613 円、国庫支出

金が 375 億 6,541 万 5,247 円、県支出金が 96 億 496 万 9,897 円、支払基金交付金が 447 億 1,213 万 2,000 円、繰入金が 11 億 8,777 万 3,532 円、繰越金が 19 億 4,881 万 2,892 円となっている。収入未済額は諸収入において 858 万 2,201 円発生し、不納欠損額はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、市町、国、県からの支出金、及び支払基金の交付金が増額となったことによるものである。

③歳出の状況

（第６表の１）　前年度決算額との比較　　（単位：円、％）

歳出区分 （款）	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C　(A－B)	増減率 C/B
1　総務費	421,713,408	0.4	280,917,236	140,796,172	50.1
2　保険給付費	112,500,408,814	97.5	108,240,139,311	4,260,269,503	3.9
4　特別高額医療費 共同事業拠出金	59,301,298	0.1	51,369,868	7,931,430	15.4
5　支払基金拠出金	86,597,313	0.1	0	86,597,313	皆増
6　保健事業費	345,935,728	0.3	307,037,495	38,898,233	12.7
7　基金積立金	657,380,095	0.6	950,482,941	△293,102,846	△30.8
8　公債費	0	0.0	0	0	0.0
9　諸支出金	1,299,036,691	1.1	1,267,170,216	31,866,475	2.5
１０　予備費	0	0.0	0	0	0.0
合　計	115,370,373,347	100.0	111,097,117,067	4,273,256,280	3.8

※　決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

（第６表の２）　予算現額との比較　　（単位：円、％）

歳出区分 （款）	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1　総務費	481,350,800	421,713,408	59,637,392	87.6
2　保険給付費	114,821,791,000	112,500,408,814	2,321,382,186	98.0
4　特別高額医療費 共同事業拠出金	76,435,000	59,301,298	17,133,702	77.6
5　支払基金拠出金	86,598,000	86,597,313	687	100.0
5　保健事業費	426,504,000	345,935,728	80,568,272	81.1
6　基金積立金	657,784,000	657,380,095	403,905	99.9
7　公債費	1,000	0	1,000	0.0
8　諸支出金	1,310,373,000	1,299,036,691	11,336,309	99.1
9　予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
合　計	117,880,836,800	115,370,373,347	2,510,463,453	97.9

令和６年度の歳出決算の総額は、1,153 億 7,037 万 3,347 円で、前年度決算額と比較して 42 億 7,325 万 6,280 円、率にして 3.8％の増となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が 4 億 2,171 万 3,408 円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が 1,125 億 40 万 8,814 円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が 3 億 4,593 万 5,728 円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が 12 億 9,903 万 6,691 円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、保険給付費が増額となったことによるものである。